

浜嶋です。

母親世代タスクチーム概要報告（1／4）

ぜひ、全員で一通り読んでほしいと思い、報告書をデータに起こしてみました。

※は、私の感想

皆さんのご意見もいただければと思います。意見を送ってください。

トークセッションのまとめ

1. ボーイスカウトのイメージ

- ・会館エレベータ内のポスターが良い。
「宇宙飛行士はみんなボーイスカウト」なんて見ると「入れよう！！」と思う
- ・宮川大輔さんの印象が良い
成功している人を見ると、ボーイスカウト活動がきっかけになるのではと惹かれる
- ・冊子（三つ折りQ&A）をもらって読んだが、「募金・国際活動、キャンプ・・・ふーん」という感じで、具体的に活動内容を知ったのは入隊後
- ・社会奉仕、山登り、キャンプ・・・外で活動する団体
- ・入隊を検討し調べていたところ、一種の宗教のように思っていた
- ・セレモニーで「フレッ！フレッ！フレッ！」と歌っているのを見ると、宗教的に感じる

※人それぞれの感じ方があります。いずれにしても入隊した人たちの意見で、特別な人たちではないと思います。

それぞれを受け入れた上で考えましょう。良い意見を参考にしたり、宗教を感じたことについても、それでもボーイスカウトが良いと思ったことは何でしょうね。

2. お子さんについて

- ・前に出るのが好き、なんでもやりたい。親から見ると、やりすぎに感じることも
- ・おとなしい
- ・おとなしいのに自己主張が強い
- ・土日の過ごし方がインドア派（ゲームばかりしている姿）
- ・自我が強くてマイペース

3. 初参加の時の第一印象など

- ・「こんな場所もあるのか」指導者の雰囲気が良かった
- ・もともと入る気で体験に参加したが、指導者の対応が良いと感じた。親も子どもも楽しかった

・「アレやれ、コレやれ」ではなく、「お友だちと仲良くしよう、だけで良い」と言っても
らえ、奥手奈子どもには良いと思った

- ・キャンプの事前荷物点検の日だったので、つまらなかった
- ・ボーイスカウトの実態を知らずに参加したが、子どもが興味を持った
- ・指導者が魅力的だった
- ・隊長の人柄や雰囲気、保護者にはポイントとなる

※参考になります。体験の日は、楽しいプログラムの時にしたいですね。

4. 入団した理由

・ボーイスカウトに入れたら、堂々とリーダーシップを発揮できるのではと考えた
・自ら発言できる子になってほしく、また野外活動をさせたかった。野外活動＝ボーイス
カウト

- ・自分が何をすべきかの判断、活力を身につけさせたいと考えた
- ・家の中で過ごすよりも、外で活動させたかった
- ・協調性、考える力を持たせたいと考えた
- ・おとなしいので自己表現できるように、と考えるお母さんが多い
- ・最近、幼児期の早いうちに計算や文字を習ったり、習い事も3～4つしていたりする。
それよりも、生きる力（メンタル力、体力、コミュニケーション力）をつけさせたいと考
えた

・「普通の子」に育ててほしい

・年長を敬う気持ちや、年下の面倒をみたりする心が育つように

・体験で『忍者になろう』に参加、「あと100回来る！」という本人の意思で入団

・仲よし同士がグループ化していく年頃になり、それとは異なり、上下関係もある環境を
たいけんさせたかった

・幼稚園のお友だちが入っていた

・自分が子どものとき、近所の子がカブの制服を着てお父さんと出かけているのを見て「か
っこいい」と思っていた

・人として、精神的にも何をして、たくましい子になってほしい

・親子で川遊びのプログラムに参加したあと「お母さん、入ろうかな」と子どもを誘った

※プログラムの内容ややり方を見直してみたいですね。

次もお楽しみに！！